

SPOTLIGHT ON KONOSHIMA OKOKU III
 IN SEARCH OF OKOKU'S USE OF COLORS AND PAINTING TECHNIQUES THROUGH HIS WORKS



ライトアップ
 木島櫻谷
 このしまおうこく
 Ⅲ
 おうこくの色 Ⅲ をさがしに

2026
 4.25 SAT
 前期
 ~5.31(日)
 後期
 6.2(火)~
 7.5 SUN

【開催時間】11時~18時 *金曜日は19時まで開催 *入館は閉館の30分前まで
 【休館日】月曜日、5月7日(木) *5月4日(月・祝・5日(火・祝・6日(水・休)は開館
 【入館料】一般1200円(1000円)、学生600円(500円)、18歳以下無料
 *企画展・同時開催展の両方をご覧いただけます。*学生18歳以下のかたは証明書の提示が必要です。
 *20名様以上の団体は(内の割引料金*障がい者手帳等ご提示のかたはご本人および同伴者1名まで無料
 *本展2回目のご来館時にチケットの半券ご提示で1名様1回限り半額。
 【主催】公益財団法人泉屋博物館、毎日新聞社
 【後援】TOKYO MX

東京 泉屋博物館
 TOKYU MUSEUM
 SUENOMIYA MUSEUM
 TOKYO

同時開催 住友財団助成による文化財修復成果 — 文化財よ、永遠に 2026

SPOTLIGHT ON KONOSHIMA OKOKU III

IN SEARCH OF OKOKU'S USE OF COLORS AND PAINTING TECHNIQUES THROUGH HIS WORKS

色彩変化

へんげ



明治後期から昭和初期まで京都画壇で活躍した木島櫻谷(1877-1938)は、日本画における「近代的表現」を模索する中で、京都派伝統の「写生」技術を活かしながら、着色や墨の発色に工夫をこらしました。

櫻谷が生きた時代は20世紀の美術の変革期を挟んでいますから、自然主義や印象主義に共鳴した様式や画題、そして色彩革命に反応した新しい岩絵具への感化などが、櫻谷の作品にも見いだせます。本展では、櫻谷の使用した絵具と色彩表現をライトアップします。時代に応じて色彩の発色の仕方や絵具の質や扱い方の変化を探っていきます。

大正中期に大阪茶臼山の住友本邸の大広間を飾った「四季連作屏風」を含め、写生帖や本領の花鳥動物画や人物画などを特集して展示します。

また同時開催として、公益財団法人住友財団が推進してきた文化財維持・修復事業助成により蘇った作品から、南北朝時代の禅僧の書跡や室町時代の漆工品、さらには櫻谷の写生帖を展示し、文化財修復の最前線を紹介します。



アカ地の錦

木島櫻谷(剣の舞)(部分) 明治34年(1901) 櫻谷文庫【通期展示】



朱だ!! しゅシュ朱

木島櫻谷(雪中梅花)(部分) 大正7年(1918) 泉屋博古館東京【後期展示】



藍よりアオク

木島櫻谷(竹林白鶴)(部分) 大正12年(1923) 泉屋博古館東京【前期展示】



もりあげ 胡粉

木島櫻谷(菊花園)(部分) 大正6年(1917) 泉屋博古館東京【後期展示】



緑青さわやか

木島櫻谷(柳桜園)(部分) 大正6年(1917) 泉屋博古館東京【前期展示】



黄土濃厚

木島櫻谷(獅子虎図屏風)(部分) 明治37年(1904) 個人蔵【前期展示】

表面(左上から時計回り)
木島櫻谷(葡萄栗鼠)(部分) 大正時代・20世紀 泉屋博古館東京【通期展示】
木島櫻谷(孔雀)(部分) 昭和4年(1929)頃 櫻谷文庫【通期展示】
木島櫻谷(燕子花園)(部分) 大正6年(1917) 泉屋博古館東京【前期展示】

複雑なかたちの器。
修理にも工夫が必要でした。



(初音時給火取母)室町時代 15世紀 東慶寺(神奈川)【後期展示】

【主催】公益財団法人泉屋博古館・公益財団法人住友財団
【同時開催】住友財団助成による文化財修復成果
文化財よ、永遠に2026

① ワークショップ「石から絵具を作り描いてみよう」

6月27日(土) ①13:00~14:30、②15:30~17:00

※要予約・要観覧券・要参加費 ※①、②ともに同じ内容です。

[講師] 藤野麻由羅氏(女子美術大学日本画研究室 助教)

[参加費] 1,000円

② (アートwith)レクチャー「絵をよそおう『表具』のこと」

5月22日(金) 17:30~18:30 ※要予約・要観覧券・要参加費

[講師] 勝村真光氏(有限会社装雅堂) [聴講料] 500円

③ 学芸員によるスライドトーク

夕焼けスライドトーク

5月8日(金)、29日(金)、6月12日(金)、19日(金)

いずれも17:30~18:30

アフタヌーントーク

5月16日(土)、6月6日(土) いずれも14:00~15:00

※予約不要・当日11時より整理券配布・要観覧券

各プログラムの詳細、お申し込みについては当館ウェブサイトをご覧ください。

※予約制のイベントは、4月15日(水)正午よりホームページにて受付開始予定(先着順)。

《公式オンラインチケット》

お得な前売券(2026年3月5日~4月24日販売)、スムーズに入場できる

入館券(2026年4月25日~7月5日販売)など、詳細はこちらの二次元

バーコードを読み取ってください。



〒106-0032 東京都港区六本木1-5-1

TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)

<https://sen-oku.or.jp/tokyo/>

[アクセス案内] ●東京メトロ・南北線「六本木一丁目」駅下車・北改札正面出口より屋外エス

カレーターで3分 ●日比谷線「神谷町」駅下車・4b出口より徒歩10分 ●銀座線「溜池山王」

駅下車・13番出口より徒歩10分



泉屋博古館東京

SEN-OKU MUSEUM TOKYO



休館日・開館時間および展示内容を変更する場合がございます。当館のホームページ、SNS等で最新の情報をご確認ください。

Facebook: @SenOkuHakukoKanTokyo X: @SenOkuTokyo Instagram: @senokuhakukokanmuseum_tokyo